

鳥の眼 虫の眼

先々週から続いた厳しい寒さが緩み、空気のおいや風の様子、また草木の芽のふくらみや鳥の声から、季節の移り変わりを感じます。学校も年度末を迎え、学習や生活の成果と課題をふまえながら、次への準備をする大切な時期であります。そのようななか、多くのおおぶっ子が「3学期は進学進級への0学期」という前向きな気持ちで過ごすことができます。引き続き、こどもたちの背中にそっと手をあてて、そのがんばりを支えていきたいと思ひます。

さて、年度末になると思い出すのは、堺市の教育長であった野口克海先生の「教育改革を進めるには鳥の眼、虫の眼が大切である」という言葉です。教育のよりよい改善を高いところから見渡して手を打つのが鳥の眼、教育現場という地面を動きまわって見えるものに手を打つのが虫の眼です。実は、私は野口先生とちょっとしたことでご縁をいただき、2回ほど会食しながらお話をうかがったことがあります。「鳥の眼 虫の眼」は、その会食のときにお話しされていた内容であり、また野口先生がさまざまなところで執筆されたりご講演されたりしていた内容でもあります。いずれにしても先生は、教育改革を議論するときに「虫の眼」を忘れがちになることを強く戒めておみえでした。

この年度末、本校の課題として、一人一人の学力や体力の向上、寛容さと正義を兼ね備えた規範意識の向上など、いわゆる全国共通的な課題が見えてきました。これは鳥の眼で見たときの課題といえるかもしれません。一方、こどもたちがもつさまざまなストレスへの対応や地域とさらにつながりのある学びの創造、さらには家庭・地域・学校がそれぞれの役割を果たそうとする意識の共有など、虫の眼で見えてくる課題も大きいと考えています。野口先生の言葉どおり、こうした虫の眼で見えてくる課題への方策を抜きにして、本校の学校力の向上は見えてこないと思っています。今一度、保護者・地域の皆さまとの信頼関係・協力関係、教職員のチームワークという足元を固めることで、こうした課題を解決していく礎を確かなものにしていきたいと思ひます。

本年度1年間に保護者・地域の皆さまをはじめ、さまざまな方からあたたかなお支えをいただきました。感謝を申し上げます。

今後も変わらぬご支援をよろしくお願ひいたします。(校長 伴 浩人)



6年生によるバザー(2/6)
各自が作ったものを販売しました



「十歳の誓い」後、4年生による
学年ソーラン(2/6)

2月の出来事（さあ、今年度も残り1か月です。一日一日を大切に過ごしましょう！）



全校朝会で表彰。おめでとうございます(2/3)



クラブ活動（野球・テーパーティング）の様子(2/3)

今年度のクラブ活動も残り1回となりました(3/10)。クラブ数：計17
詳細はPTA広報誌「いずみ」(3月号)にて。



校長室で給食を楽しむ6年生

「校長先生との給食」(6年生) 始まりました！

6年生にとって、小学校での給食も残りわずかです。現在、6年生全員が順番に校長先生と給食をとっています。連日、楽しそうな会話が職員室まで聞こえてきます。一つでもよい思い出をつくって、中学校へ進学してもらいたいです。



授業参観の様子（左：音楽室 右：3年2組教室）



2月6日(水)授業参観へお越しいただきありがとうございました。今後も、分かりやすい授業、こどもが主体的に取り組みとなる授業を目指し、授業研究に励んでまいります。

令和7年度前期児童会役員選挙が行われました。立候補した皆さん、応援演説をした皆さん、公正な選挙運営をした選挙管理委員の皆さん、お疲れ様でした。令和7年度もよりよい大府小学校にしていきましょう。



立会演説会の様子(2/20)
立候補者17名
当選者7名
各立候補者の演説へ温かな拍手がありました



選挙管理委員は公正な選挙を呼びかけていました。



6年生を送る会(2/28)

各学年から心のこもった出し物がありました。この日のために、がんばってきました。

6年生から5年生へのバトンタッチの日でもあります。5年生の歌、タブレットを活用した演出も、すばしかったです！



令和7年度の年間行事予定は、HPに掲載されています。ご確認願います。